

# 競技上の諸注意

## 1. 競技規定

本大会は、平成 29 年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則によって行う。

## 2. 競技時間と方法

- 1) 競技時間は、全試合において正規で実施する。

なお、決勝リーグ以外の試合において同点の場合は、第 1 延長～第 2 延長～7mTC【5名】で行う。

前 半	休憩	後 半	休憩	第1延長 (前半)	休憩	第1延長 (後半)	休憩	第2延長 (前半)	休憩	第2延長 (後半)	7mTC
30分	10分	30分	5分	5分	1分	5分	5分	5分	1分	5分	

- 2) 競技方法は、予選トーナメント、決勝リーグ、順位決定トーナメントをもって実施する。  
 3) 決勝リーグにおいては、①ポイント数 ②得失点 ③総得点 ④総失点の順序で順位の決定を行う。  
 3) デジタルタイマーは、加算式で表示する。  
 4) 退場時間はカードにて記録席に掲示する。  
 5) 試合終了の合図はブザーで示す。

## 3. 大会使用球

(公財)日本ハンドボール協会検定級を使用する。空気圧は下記のとおりとするが、試合開始前に両チーム代表者により調整できる。ただし最終決定は TD(テクニカルディレクター)または審判員である。

男子：molten 社製 ヌエバ X4000( H3X4000 ) ※空気圧 300±20 hpa

女子：molten 社製 ヌエバ X4000( H2X4000 ) ※空気圧 300±20 hpa

## 4. 競技会場

- 1) 競技会場は、全て正規のコート(40m×20m)である。  
 2) 会場時間は朝 8 時とする。

## 5. ユニフォームの確認及びトス

- 1) 第 1 試合は、競技時間開始 30 分前、第 2 試合目以降は前の試合の前半終了直後に記録席前で行う。  
 この際、チーム代表者は登録証と使用するユニフォーム(2種類 4色以上)を持参すること。  
 今大会の 2 日目第 3 試合は、試合前に 30 分のインターバルを設けるため、「トス」は第 2 試合終了後に行うものとする。  
 2) 短パンの下に着用するパワーパンツの着用は許可される。ただし、裾から見える場合は短パンと同色でなければならない。また、チーム全員が同色のパワーパンツの場合は異色も認められるが、審判員及びマッチバイザーが随時確認する。アンダーシャツも同様である。  
 3) 同じチームのゴールキーパーのユニフォームの色は同色でなければならない。コートプレイヤーがゴールキーパーに代わる場合には、登録された同じ番号でなければならない。  
 4) 顔面マスク(フェイスガード)はゴーグルタイプのものとし、審判長が使用の許可を判断した場合のみ着用できる。  
 5) 金属入りのサポーター類の着用は禁止する。金属部分を覆った状態でも不可である。

## 6. 登録証の提出及びメンバーの確認

- 1) 代表者会で決定したチーム役員及び選手のみが競技に出場することができる。  
 2) ベンチには、監督 1 名を含むチーム役員 4 名(生徒役員は 2 名)、選手 16 名まで入ることができる。  
 3) 登録証は、第 1 試合は競技 30 分前、その他は前の試合の前半終了後に審判員・TD へ提出する。

- 4) 監督は「Aカード」を着用し他の役員も同様に「B」「C」「D」のカードを記録用紙の順に着用しなければならない。
- 5) チーム役員は原則として座ってなければならない。ただしチーム役員1名のみが戦術的な指示を出すことや治療を目的として動くことが許される。

#### 7. 公式記録用紙の確認

- 1) 監督は試合開始前に、チーム役員の氏名及び選手の氏名と背番号が正しく記入されているか確認しサインする。
- 2) 公式記録用紙に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

#### 8. 交代地域

- 1) 各チームのボールは競技開始前にケース等に収納し、競技開始後はボールに触れることは出来ない。
- 2) 飲料水は、飲み口の細い容器で使用する。
- 3) 交代地域では、通信機器類すべての使用を禁止する。

#### 9. チームタイムアウト

- 1) チームタイムアウトは規則にのっとり3回請求することができる。延長戦は請求できない。
- 2) チームタイムアウトはチーム役員のみが提出することができ、提出のためにコーチングエリアを越えたら、すぐに記録席の上に置かなければならない。躊躇することは許されない。
- 3) グリーンカードはベンチに置いておかなければならない。請求するときのみ、持つことが許される。

#### 10. 松やに、松やにスプレー等の使用禁止

松やに、松やにスプレー等の粘着物の使用を禁止する。

#### 11. トレーナー席

交代地域の外側にトレーナー席を準備する。トレーナーは、いかなる理由があっても交代地域、競技場内に立ち入ることは出来ない。選手は、一時的にトレーナー席で治療を受けることが許される。

#### 12. 開閉会式について

- 1) 開・閉会式への参加は、チーム揃いの服装もしくはユニフォームとする。 ※ベンチコートは不可
- 2) 開・閉会式へは、参加全チーム参加すること。

#### 13. 応援等について

- 1) 応援旗・横断幕は競技に支障のない場所に設置すること。
- 2) 応援の際の太鼓・ラッパの使用を禁止する。

#### 14. 会場使用上の注意

- 1) 参加者は、屋内シューズと屋外シューズの区別をすること。
- 2) 応援の際の太鼓・ラッパ等の使用は禁止する。
- 3) ボールを壁に当てる行為は厳禁とする。
- 4) 貴重品の管理は責任をもって各チーム行うこと。

#### 15. 資格獲得について

- 1) 今大会の男女ともに上位2チームに対し、九州高等学校ハンドボール選抜大会兼全国選抜大会九州ブロック予選大会(2/1~4・福岡県福岡市)の大会出場資格を与える。
- 2) 今大会の男女上位4チームに対し、平成30年度宮崎県高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会におけるシード権を与える。さらに参加チーム数により、5・6位にもシード権を与える。